

令和 6（2024）年 6 月 4 日  
第 3 回多治見市役所本庁舎跡地等利用検討市民委員会  
総務課作成

第 2 回多治見市役所本庁舎跡地等利用検討市民委員会 会議録	
日 時	令和 6 年 3 月 18 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会 場	多治見市役所本庁舎 4 階会議室
出席委員	川口暢子委員（委員長）、原國夫委員（副委員長）、羽渕朋之委員、小坂光郎委員、安藤英利委員、小口英二委員、田代伸一委員、加藤由紀委員、長尾純夫委員、網干牧夫委員、長崎恵美委員
欠席委員	八橋祐司委員
事務局	福田総務課長、山本課長代理、佐藤主任 日本工営都市空間部：2 名
傍聴人	なし
報道機関	2 社
会議結果 要旨	
<p>1. 今後の跡地利用に向けた重要な意見として、「地域資源等の強みを活かすまちづくり」に関する意見や「空家が多いことや店舗の減少等により賑わいや活気が不足」しているまちの課題等について、意見交換がなされた。</p> <p>2. 今後の委員会に向けて、「周辺の公共施設の統廃合等の予定」や「若い世代の声・意見の必要性」、「周辺の駐車場利用に関する調査の必要性」について、質問があった。</p>	
議事 次第	
1. 開会のあいさつ	
2. 第 1 回委員会の振り返り	
<p>3. 情報共有</p> <p>（1）現本庁舎周辺の立地的ポテンシャル</p> <p>（2）現本庁舎の現在の利用状況（駐車場の土日利用等）</p>	
<p>4. 強み・弱み（資源や不足しているもの）について意見交換</p> <p>（1）ワークショップ</p> <p>（2）発表</p>	
5. その他の質疑応答	
6. 今後の予定	
7. 閉会	

## ワークショップにおける主な意見

### 1. 主なワークショップ結果

- ・2班に分かれてワークショップを実施した。特に、以下の内容については、両班に共通して意見交換が行われた。

視点	強み（資源）	弱み
まちづくり ↑ ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩いて便利</li> <li>・人のつながりが強い</li> <li>・歴史・自然・産業等の地域資源の活用</li> <li>・文教地区であり閑静な住宅街</li> <li>・公共施設（学校）が集積</li> <li>・本町オリベストリートは新規店舗が増加</li> <li>・本町オリベストリートや銀座アーケード街と近接</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化・人口減少</li> <li>・人のつながりが少子高齢化により脆弱</li> <li>・賑わいや活気の不足</li> <li>・空き家・空き店舗が多い</li> <li>・道路が狭く通りにくい</li> <li>・買い物店舗の不足</li> <li>・飲食店の減少</li> <li>・公共トイレの不足</li> <li>・若者・子どもに魅力的な場所の不足</li> </ul>
↓ ↓ 施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地等利用事業で利用可能な面積が広い</li> </ul>	

※灰色着色部分は重要なこと

### 2. 強みに関する意見

- ・地域資源と銀座アーケード街と本町オリベストリートの3つの強みは、それぞれ個別に考えるのではなく、1つとして捉えて考えていく必要がある。
- ・産業と歴史の特徴があり、それを生かしたまちづくりは、過去に何度も提言されてきているものの、それがなかなか実行できないという状況がある。
- ・本町オリベストリートについて、「お客さんには来てほしいけれど、周辺には来てほしくない」と住民から聞いている。住民との合意形成を取りながら、観光客に来てもらうのがいいという意見があった。

### 3. 弱みに関する意見

- ・空き店舗の問題は、今後、活用や出店等をきっかけに変化していけば強みにつながる。
- ・特に若い人を惹きつけ刺さる場所があると、今後のまちづくりにつながる。
- ・少子高齢化問題について、歩いて買い物に行けるところを、局地的に作っていかないとまちとして成立しないという意見があった。
- ・近くに休憩する場所や子どもの遊び場となる公園がないことから、市役所の旧庁舎跡地を公園とする可能性が考えられる。

### 4. ステークホルダー（関係者）に関する意見

- ・地域資源と銀座アーケード街と本町オリベストリートの3つの強みをつなぐ人達の存在があり、何か新しい取り組みや、事業を起こそうとする動きがある。
- ・市民・住民、観光客以外に、市外に居住していて本庁舎周辺の地域で店舗を営業している人達について、意見交換がなされた。

質疑応答	
<b>1. 周辺の公共施設の統廃合等の予定</b>	
委員	・図書館と子ども情報センターの一体化により、子ども情報センターがなくなる件と、意匠研究所が改修の計画が出ている件について、進捗状況はいかがか。
⇒事務局	・具体的な進捗は今のところない。ただし、多治見市は公共施設の建物の床面積が多いので、床面積全体を圧縮しなければいけない。
<b>2. 若い世代の声・意見の必要性</b>	
委員	・前回の委員会で、若い人の声が聞きたいという意見があった。本委員会は定員に達していないので、委員を増員することも可能と思うが、どのように考えているか。
⇒事務局	・年度明けに、検討を進めたいと考えている。もし、「この世代層から意見をいただきたい」という提案があれば、それも踏まえて検討していきたい。
<b>3. 周辺の駐車場利用に関する調査の必要性</b>	
委員	・本庁舎の現在の利用状況の駐車場のグラフについて、本町オリベストリートに行く人の駐車場利用率が平日は8%、休日は20%との結果があるが、この結果だけでは、現在、駐車場が不足しているから必要とは言えない。休日の利用状況などを調査するべきではないか。
⇒事務局	・調査について、市役所駐車場だけでなく、民間の駐車場も含む周辺の駐車場が地域一体で、どの程度溢れているのか、分析してフィードバックすべきというご意見と受け止める。何らかの予算措置をして調査する必要があるものとして検討する。